

義明征夷將軍 御家敏宗皇子

孫枝栄花松椿 鶴

高基大樹將軍 兩君如羽為翼

政令市移行30周年記念 令和4年度特別展

我、関東の

將軍にならん

—小弓公方足利義明と戦国期の千葉氏—

小曾祿与三郎信直武運
長父家門富貴衆人愛敬

以懇懇需全部六西卷



入館料 無料

開催期間 / 令和4年10月18日(火)~12月11日(日)

千葉市立郷土博物館

交通案内 ○JR千葉駅下車 東口バスのりば⑦から、千葉大学病院行 または南矢作行(千03、千03-1、千04)で「郷土博物館・千葉県文化会館」下車、徒歩3分 ○千葉モノレール県庁前駅下車、徒歩13分 ○JR本千葉駅下車、徒歩15分 ○京成千葉中央駅下車、徒歩20分

開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで) / 休館日 月曜(祝日の場合は翌平日)

〒260-0856 千葉市中央区亥鼻 1-6-1 / Tel.222-8231 Fax.225-7106 / メールアドレス:kyodo.EDL@city.chiba.lg.jp

URL:https://www.city.chiba.jp/kyodo/index.html



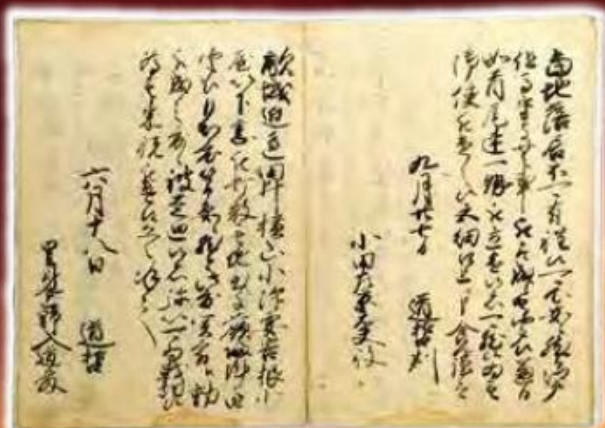
我、関東の將軍にならん

—小弓公方足利義明と戦国期の千葉氏—

きみは足利義明を知っているか…

戦国時代、千葉氏の名字の地である千葉の地は、関東のホットスポットとなりました。永正15年（1518）、「関東の將軍」である古河公方家の風雲児、足利義明が、房総の武士たちに支えられ、本市の小弓（現在の中央区生実町）で「もう一人の関東の將軍」として自立しました。世にいう「小弓公方」です。義明の行動と滅亡は千葉氏をはじめとする周辺の諸大名に強い影響を及ぼしました。小弓公方は関東の戦国社会の枠組みを変える重要な存在だったのです。

本展では、「千葉市の知られざる歴史」である小弓公方足利義明を初めて本格的に取り上げ、戦国時代の関東における千葉市域の位置づけと千葉氏との関係について紹介します。



▲市指定文化財文禄慶長御書案道哲（足利義明）書状（喜連川文書） さくら市蔵



▲足利高基書状（渡辺文書） 個人蔵

南房総市指定文化財▶
足利頼氏坐像 石堂寺蔵



▲足利成氏軍旗（復元）
古河歴史博物館蔵



▲千葉寺獅子頭（雄）
瀧蔵神社蔵 当館寄託



▲千葉勝胤肖像（復元） 当館蔵

▲里見義堯木像 正源寺蔵



▲千葉寺獅子頭墨書



▲市指定文化財足利頼淳書状（喜連川文書） さくら市蔵



▲古城跡森川内膳正陣屋之絵図 当館蔵

歴史講座 関東の風雲児小弓公方足利義明とその時代（千葉経済大学共催）

小弓公方足利義明と戦国時代の諸相について様々な視点から紹介します。（要予約）

日時：10月22日・11月5日・12月3日・（土） 14：00～15：30（各回共通）

会場：千葉経済大学2号館大講義室（2-101教室）

演題及び講師

【第1回】 演題：足利氏とは何者か—中世における足利氏の位置付けと戦国期東国の世界—
講師 谷口雄太氏（青山学院大学准教授）

【第2回】 演題：戦国時代の軍需物資の確保と調達—木材・鉄・鉛・兵糧を中心に—
講師 盛本昌広氏（中世史研究者）

【第3回】 演題：房総の戦国時代と小弓公方足利義明
講師 滝川恒昭氏（千葉経済大学講師）

募集定員：120人（応募多数の場合抽選）

10月7日（金）までに電子申請が往復はがきで申し込み。（応募多数の場合は抽選）

